

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店〔酒類〕 （経営者） 衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（副店長） その他専門店〔酒〕 （経営者） タクシー運転手 観光名所（職員）	・年末需要に期待する。 ・政権交代で消費者も期待しているため、期待感が財布のひもを緩める。 ・単価は来月から上昇し、今後、フェアが多くなっていくので、今よりは景気が良くなる。 ・2～3か月先には、年末近くになると、販売は好転するであろう。 ・11～12月及び年末にかけて、人の動き等が、多少良くなる。しかし、今年の今までの状況から考えると、忘年会等も縮小気味となるものと考えられる。 ・政権が交代して、あらゆる政策が今後行われていくであろう。
変わらない	商店街（代表者）	・年末年始は、特にボーナスの減少が見込まれるなかで、ますます消費者の財布のひもがかなり固くなっていく。冬物商戦も、暖冬が続けば、大変厳しい状況になる。浮揚する兆しは全くみえない。	
	商店街（代表者）	・当地域の商店街は、再開発中であるが、来客数が全然伸びていない。各店の売上も非常に悪い。	
	一般小売店〔乾物〕 （店員）	・インフルエンザの影響や円高などが徐々に影響してくる。	
	百貨店（営業担当）	・大型連休の影響もあり、商品群によっては売上高の若干の改善傾向がみられ、今後の推移に注目している。一方、時計、宝飾、美術品等の高額品については、動きが半減して厳しい状況が続いており、全体では先行きは変わらない。	
	百貨店（販売促進担当）	・今後、セールの時期になってくるので、単価は低いまま推移する。	
	スーパー（店長）	・これまで好調であった生鮮品も売上増が見込めない状況になっている。顧客は低価格志向のなか、必要な商品・必要な量だけを購入するという傾向が継続する。	
	スーパー（店長）	・客数は若干増えても、単価が低いディスカウント状態が続いており、今後もこの状況が続く。	
	コンビニ（総務）	・身近な経済状況が下げ止まっている感はあるが良くなっているような実感もなく、先行きの不安を抱えている現状が変わらず、消費喚起にもならない。	
	衣料品専門店（経営者）	・衣替えの時期に入り、今年の場合は、レザーや女性のブーツ等、売れ筋商品もみえてきている。それなりの単価でもあるので、今までほど悪くはならないと期待しているが、昨年も一昨年と比べて増えているので、前年水準を維持できるかどうかは不明である。	
	衣料品専門店（総務担当）	・秋冬商材が動き出しているが、客単価の下落は続いており、売上の回復は難しく、依然として厳しい商況が続く。	
	家電量販店（店長）	・家電業界は来年3月までは、政府のエコポイント政策が行われており、これに伴い、テレビ・エアコン・冷蔵庫の3品目が、現状通り、堅調に推移すると見込まれるため、動向は今と変わらない。	
	家電量販店（営業担当）	・足元では販売台数が戻ってきているが、来店客数が今一つである。	
	乗用車販売店（従業員）	・年末の新型ハイブリッド車投入もあり、明るいニュースはあるが、エコカー減税による特需も一段落してしまい、現状と変化はない。	
	乗用車販売店（従業員）	・来月モデルチェンジする車の増販に期待しているが、新車購入補助金の対象車両の販売は減少しているかもしれない。	
	乗用車販売店（従業員）	・現在までの状況を見て、良くなる要素がない。	
	乗用車販売店（役員）	・円高やガソリンの高騰などの市場状況を考えると、今の状況から良くなることも悪くなることもいえない。	
	一般レストラン（経営者）	・8月の活気がうそのようにこのところ客足がばたりと止まっている。今後どうなるか見当がつかない。	

	観光型旅館（経営者）	・9月は過去と比べてもかなり良い状態であったので、10～11月は例年並みと考える。総じて今の状態からそれほど変わらない。高速道路料金引下げによって、列車や飛行機と比べて、4人乗っても料金は同じという、車の経済性の良さが再発見されたのではないかと思う。高速道路料金引下げは四国にとっては非常にプラスになるのではないかと期待している。
	タクシー運転手	・自家用車が増えるばかりで、公共の乗り物の利用は増加が見込めない。一日の利用客も減少気味である。近距離の利用客はいるが、中距離の利用客は望めない。
	通信会社（管理担当）	・端末取替えサイクルの延伸化が画的に回復される見込みは少ない。
	通信会社（企画）	・特に大きな要因がない。
	通信会社（支店長）	・経営を取り巻く環境については、更に競争激化しているものの、政権交代も今のところ影響がない。
	ゴルフ場（従業員）	・ゴルフシーズンになったが、予約状況を見ていると、まだ例年並みである。今後も、今月とあまり変わらない状況と考える。
	競艇場（職員）	・今後、場内売上が順調に増加する要因は乏しく、若干の減少もしくは現状維持で推移するのではないかと考える。
	美容室（経営者）	・年末の繁盛期に期待したいところだが、現状は良くも悪くもなく、今後も変化はないと思う。
	美容室（経営者）	・年末になると多少来客数は増えると思うが、景気が良くなるとは思わない。
やや悪くなる	乗用車販売店（営業担当）	・新車購入補助金制度のうち、車齢13年超車の代替需要が7～9月に集中し、需要を押し上げたが、今後、この需要が急変し、悪化する不安がある。
	一般レストラン（経営者）	・企業業績悪化による冬期賞与への不安から、買物頻度を控える状況が発生すると考える。
	都市型ホテル（経営者）	・現在の予約状況は昨年と比べると悪い。予約が入っているところでも、単価が落ちている。まだまだ上向きになっているとは言い難いし、もう少し悪くなるのではないかという気がする。
	旅行代理店（支店長）	・引き続き、新型インフルエンザの影響で、旅行を見合わせる傾向がある。秋の行楽シーズンに向け、特に企業における親睦旅行等の団体旅行の自粛、学校における学級・学年閉鎖の影響による修学旅行等の中止・延期が懸念される。
	タクシー運転手	・年末に近づき、本来なら良くなるのだから、今の現状を見てみると、新型インフルエンザ、高速道路料金無料化の動きなど、タクシー業界にとってはマイナス要因ばかりで、この先が心配である。更に、夜になってから飲みに出る人が少ないので、客が極端に減っている。乗車しても短距離であったりするなど、厳しい状況が続くと考える。
	設計事務所（職員）	・公共事業の減少により、地方部では建設業従事者の失業者はさらに増え、負の連鎖が拡大すると思う。建設業の先行き不透明感は、地方の消費を予想以上に落ち込ませているようで、今後も一段とその傾向は強まる。建築数減、中古車の販売台数減などの話を、事業主からよく聞く。
悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・卸売業者の実質破たんによる統合、同業者内では勝ち組と評価されていた大手小売店の相次ぐ廃業、販売先料飲店からの値下げ要請に一向に歯止めがかからず、むしろエスカレートしている。
	スーパー（店長）	・消費者はいろいろなスーパーを回って、安い物を買っている様子である。景気が良くなっている業界もあるようだが、我々の業界では、このままでは更に悪くなっていくと考える。
	衣料品専門店（経営者）	・現状では訴求をしてもお客の反応が悪い。
	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・良くなる要素が全く見当たらない。
	設計事務所（所長）	・政権交代によって、現在、決定している公共事業まで、中止になってしまうのではないかと大きな不安がある。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） 建設業（総務担当）

	通信業（部長）	・節約志向は変わらないものの、新規提案に対する採用のハードルが少し低くなってきており、この傾向は今後も続くものと考える。	
	通信業（営業担当）	・来月から秋の行楽シーズンを迎えるし、子供の秋休み、連休を利用して日帰りではなく、1～3泊での旅行計画を立てている話を、ゴールデンウィークや9月の大型連休の時より、身近で聞くことが多い。	
変わらない	鉄鋼業（総務・人事統括）	・受注は春以降持ち直し方向で推移してきたが、受注量は前年の水準を相当下回っている。また、ここに来て一部の商品では、製造量にピークアウトの気配が感じられる。	
	輸送業（社員）	・取引企業の出荷数量の状況を見ると、昨年よりも持ち直ししているものの、一昨年の数量までには回復しておらず、株価及び原油価格の影響もあり、当面現状からは変わらない。	
	広告代理店（経営者）	・広告をしても物が売れないという消費不振のため、多くの得意先で広告費の削減が著しくなっている。プラス面としては大型ショッピングセンターが、競争激化のため周辺県からの集客広告展開をしている。全体としては今後の広告費受注予測が非常に難しくなっている。	
	公認会計士	・異業種の社長と話をすると、将来の景気については、高速道路料金の無料化に対する期待がある一方、資金繰りの悪化や設備投資に消極的という話も出ており、総じて、向こう3か月の景気は今とあまり変わらないと考える。	
やや悪くなる	木材木製品製造業（経営者）	・予算が決まるまでは、確かなことは言えないが、公共事業中止の動きがみられる。今後、デフレの継続やリストラの懸念もある。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外の受注は従来よりも悪くなっている。	
	建設業（経営者）	・公共事業が減りそうであるため、景気はやや悪くなる。	
	不動産業（経営者）	・最近、客の動きが非常に悪くなってきている。広告を打っても人が集まらず、客も様子見の状態である。解決の糸口が全然みえない。	
	広告代理店（経営者）	・政権交代により、一部の業種については仕事が見えない状態にある。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・企業の新卒採用は顕著に回復しているが、研修の導入が予測より鈍化しているため、総じて横ばいの予測である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・当地では企業収益が落ちており、雇用確保が喫緊の課題である。子育て支援、ガソリンの暫定税率廃止、高速道路料金無料化などが実施されるまでは消費にお金が回る材料がない。
		職業安定所（職員）	・新規出店の小売業でも新規求人数は少なく、企業内の人事異動で対応するなど、当分、新店舗による求人は望めそうもない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業などから送られてくる求人数が、少ないなりに安定してきている。累計では昨年より100件近く少ないが、月別求人数は、7月は34件、8月は37件、9月は44件であり、落ちついてきている。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・景気が良くなると思う材料が依然見受けられない。	
	職業安定所（職員）	・消費意欲低迷で、すぐに必要としない物は当然ながら売れないようである。この先、景気対策が個人に向けられたとしても、安価で環境に優しい物や、育児・教育サービス、介護サービスに需要が移るとされるため、異業種転換ができない会社は、順次、廃業や倒産が予想される。	
	民間職業紹介機関（所長）	・企業側の求人数が激減している、また、今後、基幹産業の企業のなかで、人員整理を考えている企業も少なくない。	
悪くなる	-	-	